

正十二面体の投影図に現れる黄金比の連鎖

中川宏

図は、上から順に、正十二面体の辺心図、面心図、面心図の側面図である。それぞれの図において、同じ色の平行な線の長さには、

$$1 : \tau : \tau^2 : (\tau^3)$$

の関係がある。

それぞれの色の最も短い線の長さの比は、

緑 : 橙 : 赤 : 青 =

$$1 : \frac{\tau-1}{\sqrt{3-\tau}} : \frac{1}{\sqrt{\tau+2}} : \frac{\tau-1}{2}$$

である。

